

出前トーク通信 vol.4

出前トーク通信 vol.4は、No.7-44「グリーン・ツーリズムってなあに？」(構造政策課)の様子をご紹介します。

最近よく耳にするようになった「グリーン・ツーリズム」ですが、テーマ名同様、

「グリーン・ツーリズムってなあに？」という方も多いのではないのでしょうか。

今回ご紹介するテーマでは、グリーン・ツーリズム(以下GT)とはなにかということから、その楽しみ方、また本県の取組事例などをわかりやすくご説明します。

まず、GTとは、**自然豊かな農産漁村で地域ならではの生業や、そこに住む人たちの暮らしぶりに触れながら休暇を過ごす旅行のこと**だそうです。近年、旅行者の目的は、観光地を巡る物見遊山型から、酒造巡りなど趣味嗜好に特化したものや、地域ならではの手仕事を体験するこだわりの旅へと変化しており、個人旅行者をターゲットにしたGTに追い風が吹き、農家民泊・宿泊者数は年々増加しているそうです。

出前トークの中では、魅力的な体験メニューに必要な要素についてや、わたしたちにとっては見慣れたものでも、観光客にとっては珍しい観光資源になりうるものについてもお話がありました。

個人的に「これも観光資源になるのか!」と驚いたのは、りんご収穫などで使われる“バケ”(軽トラの屋根を切り取って、オープンカーのようにしたもの)と、りんご木箱でした。驚くと同時に、「まだまだ青森の観光には秘められた可能性があるんだな」と感じました。

農業経営の一環として、農家民泊など新しいことを始めてみたいと思っている方や、本県の観光産業について今までとは違った視点から学びたい方におすすめのテーマとなっていますので、興味のある方はぜひ一度受講してみたいはいかがでしょうか?

グリーン・ツーリズムの楽しみ方を知りたい!体験してみたい!という方も、お気軽にお申し込みください(^_^)



(出前トークの様子)